

アスレティックリハビリテーションⅡ

科目ナンバリング SPS-311

選択 2単位

本郷 仁吾

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、1・2年時に学んできた運動器の機能解剖やスポーツ外傷・障害の基礎知識についての復習を行いながら、アスレティックリハビリテーションの基礎を確認し、スポーツ外傷・障害別のアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。

また、競技特性の理解と、競技特性に応じたアスレティックリハビリテーションについても学ぶ。

2. 授業の到達目標

- ・スポーツ外傷・障害の病態を考慮したリハビリテーションを理解し、説明ができる
- ・競技特性を考慮したリハビリテーションを理解し、説明ができる
- ・アスレティックリハビリテーションを実践指導できる

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(80%)

小テスト・課題(20%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②運動器の解剖と機能 日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト③スポーツ外傷・障害の基礎知識 日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤検査・測定と評価 日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション 日本スポーツ協会
福林 徹
武富 修治 アスレティックリハビリテーションガイド 文光堂
広瀬 統一
泉 重樹
上松 大輔
笠原 政志 アスレティックトレーニング学 文光堂
臨床スポーツ医学編集委員会 スポーツ外傷・障害の理学診断理学療法ガイド 第2版 文光堂
中村利孝・松野丈夫 監修 標準整形外科学 第13版 医学書院

5. 準備学修の内容

運動器の解剖と機能を復習しておくこと

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 鼠径部の解剖学・外傷と障害
- 【第3回】 鼠径部のアスレティックリハビリテーション
- 【第4回】 手関節の解剖学
手関節捻挫のアスレティックリハビリテーション
- 【第5回】 肩関節の解剖学・外傷と障害
- 【第6回】 肩関節前方脱臼のアスレティックリハビリテーション
- 【第7回】 肩関節投球障害肩のアスレティックリハビリテーション
- 【第8回】 肘関節の解剖学・外傷と障害
- 【第9回】 肘関節MCL損傷のアスレティックリハビリテーション
- 【第10回】 肘関節 各障害のアスレティックリハビリテーション
- 【第11回】 頸部・腰部の解剖学・外傷と障害
- 【第12回】 頸椎捻挫のアスレティックリハビリテーション
- 【第13回】 腰部疾患のアスレティックリハビリテーション
- 【第14回】 重篤な外傷 脊髄損傷について
- 【第15回】 まとめ・テスト